

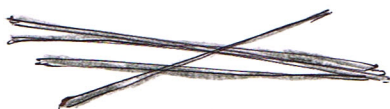


学 校 農 園 便 り

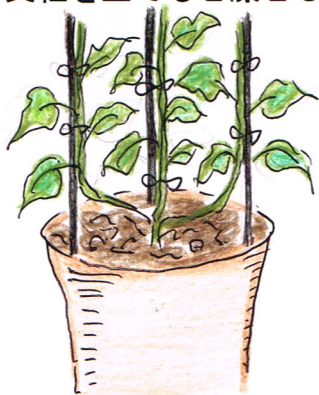


あっという間に暑い暑い夏が終わり、今は風が吹くとさわやかな秋風が感じられ気持ちのいい季節になりました。夏休みの間とはびきり暑い日も、雨の日も、水やり当番の日も沢山の方が来て下さりありがとうございました。今年は雨の日も多く、何より屋根があるので雨でも水やりは中止にはならないので足元も悪く大変だったと思います。水やり当番とは言うものの、水をやるだけではなく、その成長を観察したり、おうちの方に自分の菊を見てもらったりするのもその目的の一つですので、たくさんの方に見て頂けて菊も喜んでいと思います。今後の土日もしっかりお願いいたします。これから菊祭りに向けて、一気に成長も早くなります。立派な花を咲かせることが出来る様にみんなで協力し合って大事に育てていきましょう！

支柱立て



夏休みの前は葉が2~3枚くらいしかなかった苗が、皆さんの熱心な水やりのおかげで鉢の土が見えない程立派に育ちました。大きくなると風が吹くだけでも倒れやすくなり、せっかく育ててきた苗がダメになってしまう事があります。支柱立てはそんな苗に支えになる支柱を入れてあげる事もありますが、支柱にはもう一つ役割があります。3~4年生は1本立て、5~6年生は3本立てに仕立てますが、自由にたくさんの芽が出てしまっている苗を1本立ては茎を1本に、3本立ては立派な花が咲きそうな茎を3本選び、それぞれが咲いたときの立ち姿をイメージして支柱を立てていきます。バラバラだった苗に支柱を立てると凛とした立ち姿になりいよいよ花が咲く準備が整います。



芽かき

ここからは3~6年生の大菊は一本の支柱に1つの花が咲くように脇から出た花芽を摘んで1つの花に栄養がたっぷりいくようにします。大きな菊の花を咲かせるためにはこうしてまめに余分な花芽を取る事がとても大切です。でも、花芽はとても繊細で傷つきやすいので大事な花を咲かせたい花芽を取ってしまったたり傷つけてしまったたりしないように細心の注意が必要です。



松原さんのお話を聞いています。

